

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表日：2023年6月7日

スタッフ数：6名 回収数：6名 割合：100%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が各専訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6	0	・活動ごとにスペースを設けている。不要な物は置かず、空間を広げている。
	2	職員の配置数は適切であるか。	6	0	・法定の基準を満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	6	0	・屋外に階段があるため、悪天候の場合は非常口からの出入りが可能と保護者に伝達をしている。 ・段差等はある。歩行に難がある児に対しては、身体補助や見守りを側で行っている。 ・個々に合わせた支援を行っている。 ・転倒した時の衝撃を小さくするため、床一面にマットを敷いたり、絵カードで視覚的支援を行い、場所の把握がしやすいようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・児童の入れかわる際に清掃を行っている。児に応じて活動用具の設置を行っている。 ・使用後は消毒・清掃を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・事業所目標及び自己目標を立てて、毎月全員で振り返り、改善を行っている。 ・勤務経験の少ない職員に対して月ごとの目標、振り返りの一覧を用意し、一つずつ業務を覚えていけるように工夫していた。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	6	0	・評価の実施及び職員への改善意識の向上を行っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	6	0	・評価結果を全職員で振り返り、原因の考察や改善提案及び実行を行っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・必要に応じて実施していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6	0	・毎月、内部研修を行っている。自立協議会への参加を行っている。 ・月1回行っていて、座学だけではなく、意見交換をする時間を設けている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・日々の保護者との聞き取りや定期的なアセスメントを通して計画書の作成を行っている。 ・最長、年に2回ずつ、モニタリングを行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6	0	・NCプログラム、Vineland II等を使用し、多角的にアセスメントを行っている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・ガイドラインに基づいて設定を行っているが、地域支援については地域参加の機会をさらに広げていきたい。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・定期的なモニタリングを行うとともに、適宜保護者・相談員と連携を取り支援に反映させている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・月に1度計画立案を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・特性に応じた配慮を行い、季節や行事に触れ合えるプログラムとなっている。地域参加のプログラムも増やしていきたい。 ・月ごと、季節ごとにプログラムを立てて行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・計画書に基づいた療育の提供が行えるよう個別・集団ともに計画を立てて日々実施している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6	0	・確認、共有を行っている。閲覧ボードを設けていつでも確認できるようにしている。 ・申し送りで情報共有を行っている。 ・いつでも確認できるように、個々の目標・手立てを一覧にしている、それをもとに支援内容を考えている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・支援についての改善は必ず次回までに取り組みを実施していけるよう事後すぐにできない場合は次の日の朝に行っていく。 ・気付いた点や手立てに困った際に、都度、確認・報告を行うようにしている。 ・職員の勤務形態がバラバラなため、すぐに出来ていない事もある。 ・打ち合わせというかたちで毎日振り返りをする事は時間の関係でできないが、気付いた点などは積極的に言うようにしている。 ・その日のうちにはなかなか共有できない時があるが、メモ等で伝える工夫をしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・毎回計画書に基づいた活動記録を記入している。支援の検証・改善の実行力が向上できるよう職員の資質の向上を行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	6	0	・定期的に行っている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	
児童発達支援センターとの連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	6	0	・管理者、児発管、担当職員が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	6	0	・必要に応じて行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	3	3	・現在、該当児の利用はないが、自立支援協議会等で必要な情報収集は行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	3	3	・現在、該当児の利用はないが、自立支援協議会等で必要な情報収集は行っている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・送迎時や担当者会議で情報共有や課題の共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・就学時に行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	1	・情報共有や見学を行い、連携をとっている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	3	3	・地域の公園にて触れ合う機会がある。 ・公園等で会う際に挨拶や同じ空間で遊ぶことはある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	1	・子ども部会に定期的に参加し、情報提供を受けたり、勉強会を行っている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時に都度行っている。必要に応じて家庭訪問や相談援助を行っている。 ・子どもの朝の受け入れや帰りの申し伝えの際にしっかりコミュニケーションをとるように心掛けている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	3	3	・コロナ禍で見合わせていたが、計画を立て実行していきたい。 ・ペアトレではないが、家庭で行えることをお伝えしている。 ・実践はできていないが、お便り等で伝える工夫をしている。
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・初回時、計画書の更新時に説明を行い、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・送迎時に行っており、必要に応じて相談援助や家庭訪問を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	3	3	・コロナ禍で見合わせていたが、計画をたてて実行していきたい。また、その際には保護者の意向を反映できるようにしていきたい。 ・保護者を含めた行事を検討している。 ・少しずつ保護者参加の活動も増やしていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・送迎時や電話、メール等で行っているが、効果的な時間がもてるように送迎時の体制を整えていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・通信やブログを通して行っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	6	0	・通信やブログ掲載については事前に保護者の同意を得ている。書類は鍵付きロッカーで保管している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・書面や図面にして伝えたり具体物を提示して共有の柔軟性に配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・コロナ禍で見合わせていたが、バザーの実施など計画を立てて実施していきたい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルを策定し、研修で周知している。契約時に保護者に説明している。 研修の時には、具体的な対応方法も学んでいる。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 各種の非常時に備えた訓練を実施している。 研修の時に再度確認し、意識できるよう心掛けている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントシートにて聞き取りを行っている。変更に応じて適宜確認を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 現在、該当利用児はいないが、利用開始時の聞き取りや適宜保護者との協議を行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生につながりそうな場面後、速やかに行っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 法定に基づき研修の実施、職員の資質の向上を計っている。 研修に加えて、チェックリストの記入も定期的に行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> 現在、該当利用児はいないが、契約時に説明を行っている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価（公表）

公表日：2023年6月7日

スタッフ数：6名 回収数：6名 割合：100%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が特等訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6	0	0	・帰所時間がバラバラでも混乱しないよう各スペースでの配置、配慮を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか。	6	0	0	・法定の基準を満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	4	2	0	・構造上完全なバリアフリー化は難しいが、安全な空間作りのため物品の配置に配慮を行っている。 ・個々に合わせた支援を行っている。 ・段差等あり。転倒等の事故にならないよう側で見守りはしている。 ・施設は大きくなくても、障害の特性に合わせて落ち着いた空間で過ごせるように仕切りがある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	0	・事業所目標及び自己目標を立て、毎月全員で振り返り改善を行っている。 ・勤務経験の少ない職員に対して、月ごとの目標・振り返りの一覧を用意し、一つずつ業務を覚えていけるような工夫があった。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	6	0	0	・アンケートの実施を行い、集計結果の共有、改善策の協議を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	6	0	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0	6	・必要に応じて行っていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	6	0	0	・毎月内部研修を行っている。外部研修の伝達講習もしている。 ・月1回行って、座学だけでなく、意見交換をする時間も設けている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	0	・日々の保護者との聞き取りや定期的なアセスメントを行い、計画書の作成を行っている。 ・最低年2回ずつ、モニタリングを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	6	0	0	・NCプログラム、Vineland IIを使用し、多角的にアセスメントを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	0	・月に1度立案を行い、職員間で協議及び役割分担を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	0	・月ごと季節ごとにプログラムを立てて行っている。 ・計画された内容に基づいて特性に応じたプログラムを作成している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	6	0	0	・それぞれの目標設定を行い、活動スケジュールやプログラムの変更を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	0	・個別、集団ともに個々に応じた目標設定を行い、活動計画を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6	0	0	・申し送りで情報共有を行っている。 ・確認を行っている。シフト上その時にいない職員は閲覧ボードやタイムスケジュールで確認、共有を行っている。 ・いつでも確認できるように個々の目標、手立てを一覧にしていて、それをもとに支援内容を考えている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	0	・シフト上難しい場合は報告を行い、次の日の朝には改善の協議を行っている。 ・打ち合わせという形で毎日の振り返りをするのは時間の都合上できないが、気づいた点等は積極的に言うようにしている。 ・職員の勤務形態がバラバラなため、すぐにできないこともある。 ・全員では難しいので、メモで伝える等工夫している。 ・毎日ではないが、都度必要な時に行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	0	・利用の都度、活動記録を残しており、計画書に基づいた検証の根拠となっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	・定期的に行い、見直し、改善を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	0	・ガイドラインに基づき、活動計画を立てている。

	チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	改善目標・工夫している点など	
関係機関等との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	6	0	0	・管理者、児発管、担当職員が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	0	・普段と予定が変更される場合は、特に確認もれないよう配慮を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	4	1	1	・現在、該当者の利用はないが、必要に応じて主治医との連携体制は整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	0	・担当者会議を通して、情報共有、課題の整理を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	0	・現在、該当児の利用はないが、今後を見据えた体勢を整えていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	4	1	1	・情報共有や見学を行い、連携を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	3	0	3	・長期休みには地域への外出で交流する機会がある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	1	・定期的に参加し、意見交換、情報共有を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	0	・子どもの朝の受け入れや帰りの申し伝えの際にしっかりコミュニケーションをとるように心掛けている。 ・必要に応じて、家庭訪問を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	3	2	1	・家庭で行える事をお伝えしている。 ・コロナ禍で見合わせていたが、計画を実行していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	0	・契約時にご家庭に伺い説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0	0	・送迎時に行っている。必要に応じて、日程調整をし、相談援助を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	3	1	2	・コロナ禍で見合わせていたが、保護者のニーズを把握し、保護者を含めた行事を検討し実施していきたい。 ・保護者同士の交流ができる場を増やしていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	0	・相談窓口を設け、周知を行っている。要望や苦情があった場合は速やかに協議を行い対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	0	・毎月通信の発行とブログのアップを通して発信している。
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	6	0	0	・契約時に同意を得た上でやっている。書類は鍵のかかるロッカーで保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	0	・書面や図面にして、伝えたり、具体物を提示して共通理解に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	0	6	・コロナ禍で見合わせていたが、ハザーや作品展など計画を立てて実施していきたい。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	6	0	0	・研修の時には、具体的な対応方法も学んでいる。 ・マニュアルを策定し、研修で周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	0	・避難訓練を実施している。各種の非常時に備えた計画実行を行っている。 ・研修の時に再度確認し、意識できるよう心掛けている。 ・実施訓練参加ができていないため、年1回は参加、若しくは、申し送りを聞くようにする。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	0	・法定に基づき研修の実施、振り返りシートの自己チェックを行い、職員の資質向上を計っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	1	・現在、該当児の利用はないが、契約時に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	1	・現在、該当児の利用はないが、利用開始時に聞き取りや必要に応じて保護者との協議を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	6	0	0	・事故発生後、速やかに行っている。